

開幕戦を終えて 選手のコメント紹介 ③



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

8 太田剛志君

太田剛志君(3-6)は初勝利について「波佐見高校は思っていたより打ってくるチームで、ピッチャーも強かった。9回1点ビハインドの状態でしたのはよかったです。終盤が負けと言っていたので良い勝ち方だった」と微笑んだ。9回裏を振り返って「松井が出塁したとき、ネクストバッターだったので派手に喜ばなかったが、いけると思った。同点打のときはノーアウト満塁だったけど2ストライクと追い込まれていて嫌な流れだった。しかし得点につながってよかった」と話した。次の試合に向けて「青森山田高校も強いので無失点に抑えるのは難しい。5点以上入れることができれば勝てるかと考えているので、打線のつながりを意識したい。初勝利できたのはよかったがまだまだだと思う。どんな展開でも諦めずに彦根東の野球をしていきたい」と意気込みを見せた。



9 辻山知志君

辻山知志君(3-6)は初戦を「甲子園で勝つのが目標だったので勝ってよかった」と振り返った。またチーム内



初ヒットの感想を「点を入れられた後だったので、出塁できてよかった」と、9回裏の心境については「意外と雰囲気よかった。みんなが繋がって打ってくれてよかった」と述べた。

次の試合に向けて「次のバッターに繋がられるようにしっかりと低い打球を打てるように練習する。甲子園に出ていく強豪校に勝つために練習をしてきたので勝ちたい」と意気込んだ。



10 増居翔太君

増居翔太君(2-4)は初戦を「県大会のときよりは緊

張していたが、応援席を見て感動し、頑張ろうと切り換えられた。ピッチングの調子はよくなかったが抑えにいくことと腕を振ることを意識した」と振り返った。初勝利の感想を「ピッチングのリズムが悪く、ボールが多かったのが味方に迷惑をかけてしまったが、逆転してサヨナラになったのは素直にうれしかった」と笑顔を見せた。また6回裏のピッチの場面を「点を取られても取り返してくれるだろうという思いで投げていた。抑えなければならぬと思っていたが、追い込まれてはいなかった」と明かした。次の試合に向けて「次の試合まで時間が空くので、少しでも技術を向上させられたら良いと考えている。次も強豪校なので簡単には勝てないと思う。チーム全員で勝ちにこだわりたい」と熱意を見せた。

